

平成 25 年度 大阪府こども会育成者研修を開催しました！

テーマ＜こども会活動のKYT＞

平成 25 年 11 月 23 日(土)、ドーンセンター（大阪府中央区）にて「50 周年記念事業 平成 25 年度大阪府こども会育成者研修」を開催し、16 市 3 町より 45 名のご参加をいただきました。



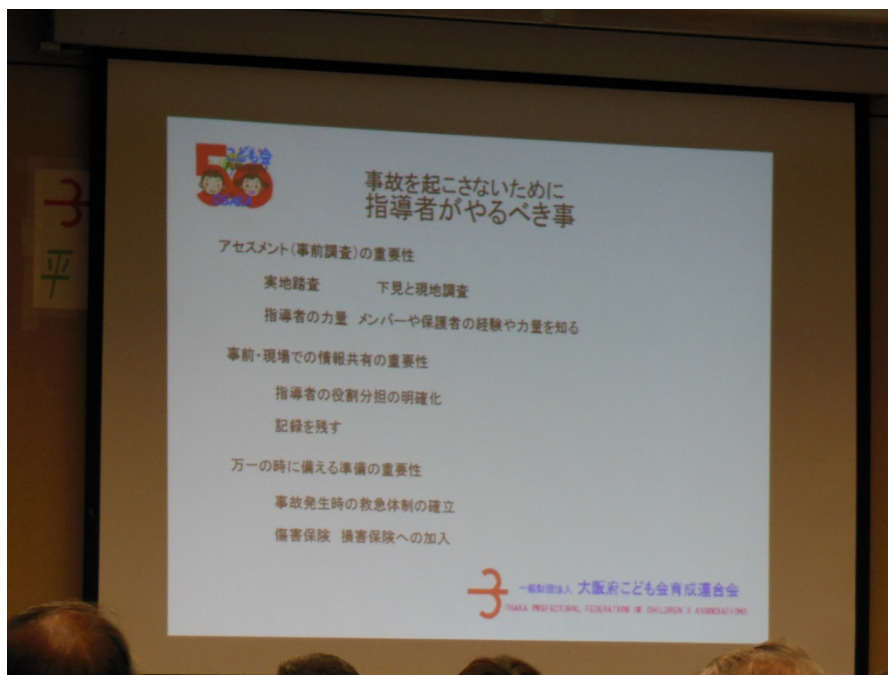
開会式では、当連合会の中山理事長の挨拶のあと、大阪府青少年・地域安全室 青少年課の播本課長、大阪府教育委員会事務局 市町村教育室 地域教育振興課の吉原課長のお二人より、ご挨拶を頂戴しました。

その後の基調講演では、当連合会副理事長の林 泰史より、地元のこども会で長年活動し、リーダー養成に関わってきた経験などからお話をいただきました。

《安全》は3つに分類されます。まず1つめは《身体的な安全》です。昔と比べて今のこども達は遊べない子が多かったり、「危ないからしない（させてもらえない）」と、経験や体験が少ないためにどこがどう危ないかがわからないので、大きなケガにつながる事もあります。大人が先回りして危険を全て取り除いてしまうのではなく、「これ以上は危ない」という事を経験から学んでいく事が大事だと思います。



2つめは《精神的な安全》です。昔は異年齢の群れ遊びの中でガキ大将が生まれ、縦社会の中で遊びを通していじめられたり守られたりしていましたが、今はそういった機会がなかなかないので、こども会で異年齢集団での遊びを経験することは大事なのではないのでしょうか。



3つめは《社会的な安全》です。「役員せなあかんからこども会には入れへん」という親が多いという話をよく耳にしますが、みんながいたわりの精神を持つことで地域社会が成り立ち、活動ができる。こども達は大きくなった時に「あの時おっちゃん・おばちゃんにこういう事をしてもらったから、自分も何かで返していかな」という気持ちをどこかで持ってくれるのではないのでしょうか。

午後からは寝屋川生野病院の小児科医長で当連合会の専門員でもある宮居健氏より、KYTの目的や事故の再発防止のためにどのような事をすればよいのかというお話をいただいた後、6つのグループに分かれてグループワークを実施しました。



共通した1つの例題に対して、その中で「なぜそうなったのか?」と、その「答え」を付箋に書き出して模造紙に貼り付けていくと、どんどん付箋だらけになっていきます。同じテーマでもグループごとに目のつけどころが違ったりして、それぞれたくさんの意見が出ました。



各市町こ連の研修でも、ぜひ安全について考える機会を取り入れて、安全対策に備えましょう。講師派遣の希望があれば、府こ連事務局までお問い合わせください。

参加していただいた皆様、本当にありがとうございました！

